

住道みらいデザイン会議レポート

住道みらいデザイン会議とは

市では、JR住道駅周辺をまちの中心拠点と位置づけ、その立地や可能性を活かしながら、日常のなかで大小さまざまな挑戦がそれぞれの色を持って現れる未来をめざしています。このエリアがもっと面白く育っていくためには、民間の皆さんのが主役となり、「ここならでは」の価値を一緒につくることが大切です。

そこで行政・民間・地域の人々が出会い、意見やアイデアを交わせる場として「エリアプラットフォーム」を立ち上げ、「何かやってみたい」という思いを後押しする住道の未来ビジョンを検討してきました。

第1回住道みらいデザイン会議

日時	2025年7月22日(火) 18:30~20:30
場所	大東市立生涯学習センタークロス 3階市民ギャラリーA
テーマ	住道の魅力とこれから
講演	まちを引き継ぐ（土田由里さん）

前半では、姫路の旧市場内にあった荒物屋「蒲田商店」を引き継ぎ、三代目店主となられた土田由里さんをお招きし、基調講演を実施。「旧市のきさき朝市」など姫路旧市場の魅力を継承する取り組みについてお話しいただき、エリアらしさをビジョンにどう落とし込み、それが実際のエリアの変化にどう繋がっていったかを学ぶ機会になりました。後半は住道らしさについて意見交換を行い、多様なチャレンジを受け入れる土壤があること、駅前の充実したコンテンツや自然の近さ、人懐っこい人の多さなどが、住道ならではの魅力として挙げられました。



第2回住道みらいデザイン会議

日時	2025年11月20日(木) 18:30~20:00
場所	大東市立生涯学習センタークロス 3階市民ギャラリーA
テーマ	住道のつくりたい景色を妄想してみる

前半では、モダレーターを務める（株）リノベリングの水上よりこれまでの議論の変遷を振り返りながら、今後の取り組みの方向性となる住道の未来ビジョン(案)が共有されました。後半は「住道らしさ」や「自分の色」を大切にしながら、多彩な価値観や取り組みを受け入れる土壤のある住道だからこそやってみたいことや、つくっていきたい日常のシーンについて意見交換を行い、参加者それぞれの思いや視点を持ち寄りながら、住道への多様な関わり方や可能性を具体的に描く機会となりました。

